毎月一回二十五日發行

婦人新報

第百七拾九號

明治四十五年五月廿五日

精勵せよ。勉強せよ。汝の氣力の續く限り愛の事業を爲せ。如何なる仕事をも小事と思ふ勿れ。如何なる業務をも下賤と思ふ勿れ。身體虛弱なるも心靜かに忍耐し決して短氣を起すこと勿れ。他人の不都合を咎むること勿れ。他人の不親切なる言行を寛恕せよ。病人を見舞へ貧民を救助せよ。汝の大小一切の言行をして愛より流出せしめよ。之が報酬として神は汝に無限の愛を與へ給はん。職務に忠實なることは人生の一大必要事なり。自己の責任よりも餘分の仕事までも、進んで引受るほどの心掛なかるべからず。仕事を胡魔かし、手を盜む樣なる不淨の精神にては、到底眞正の幸福を得ること能はず。汝の言行を正うして以て靈性の平和を得よ。（イー、ピー、プーセー）

日本基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百七十九號目次

社説
婦人の使命
第廿回大會執行順序
矯風會役員住所氏名
をしへの庭
家庭と宗教　大阪教會牧師　宮川經輝
約翰傳講話、道・生・光　廓清會理事　益富政助
もしほ草
子供は救ふ價値ありや　在米　久布白落實子
孝子の德父の放埒を止む　報知新聞
覺え帳の中より　M生
我魂と我心と　安中花子
人を呪はゞ穴二つ　岡の光
ホーム
基督敎と結婚　青山學院教授　山田寅之助
料理
はたらき
日本訪問雜感　萬國矯風會外人部長　サッチャー夫人
矯風會の起源　ウィーラード傳　鵜飼牧師譯
慈愛館の集と歡迎會　記者
社會改良と婦人　山室軍平
注意すべき廣告
おとづれ
○靜岡支部○佐賀支部○金澤支部○長崎支部○麴町支部○婦人新報代金領收廣告

社告

◎婦人新報定價(郵稅共)
一部(前金)　金六錢
六部(前金)　金三十五錢
十二部(前金)　金七十錢
(郵券代用一割增)

◎廣告料
一行(五號活字)　金十錢

明治四十五年五月廿四日印刷
明治四十五年五月廿五日發行
發行兼印刷人　矢島楫
編輯人　高原孝
發行所　東京市麴町區上二番町卅三　矢島方　婦人新報社
編輯及事務所　麴町區上二番町卅三　矢島方

No. 179　MAY. 1912

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

The Mission of Womanhood ....Mis. Watanabe.
Home and Relegion......... ....Rev. Miyagawa.
Bible Study.............................. ....Mr. Masutomi.
Is it worth while to save the Children.. Mis. Kubushiro.
The Story of a Praiseworthy deed.......Hōchishimbun.
Extracts from Memorandum.. ....Mr. Masutomi.
Literary Fragments..........................Mis. Annaka.
Christianity and Marriage. ....Rev. Yamada.
Address given by Mrs. Thacher. ....
The Rise of the W. C. T. U...... .... Rev. Ugai.
Reception for Mrs. Ella H. Thacher of World's W. C. T. U.
All-day Meeting at the Rescue Home.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
c/o Mrs. Yajima, No. 33 Kaminibanchō Kojimachi, Tokyo.
70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◉衣裳の薫

純日本式・高等香料

（紳士淑女は必ず本品を用ひ給へ）

今日此頃青葉若葉の眼に新しく、身に重き冬衣を脱ぎ捨てて

衣裳の薫の移り香床しく初袷すがすがしく身につけたる時の心地よさ、藤は清く氣高く、牡丹は艶に美しく、花あやめの粋なる、皆とりどりに趣はあれど香料は

衣裳の薫を措きて他になし。

四季を通じ衣裳の保存にはいと心すべき事なれども、わけて降り暮す五月雨の頃は大切の衣裳を損じ玉はぬ様豫め

衣裳の薫を供へ置き給へ、防虫、防濕の効能偉大なり。

◎弊園は婦風會の主義を賛するものなり、希はく志を了し御用命の際は婦人新報社へ、關西の御方々は大阪支部へ御申込あり度し

衣裳の薫（美麗絹袋）十箇入壹圓七十錢
仝　五箇入八十五錢
仝　家庭用紙袋十箇入壹圓
仝　五箇入五十錢
防虫香　五十箇入壹圓貳十錢

發賣元

浪花
東都

東籬園

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生徒募集

和洋裁縫教授

但個人教授に依り懇切に教授し且つ傍ら精神の修養を重んず

本郷區曙町十六番地いノ三號
(白山停車場脇)

安村女塾

看護婦并に見習生

募集

東京芝區葺手町五番地

渡邊看護婦會

會主 渡邊錸子

電話芝壹三九三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人特報
第百七拾九號

婦人の使命

男子と女子とは、生れながらにして其性情を異にして居りますから、男子には男子特有の天授の使命のあるが如く、女子にも亦特有の使命があります。さらば婦人の使命は如何なるものでありませうか。

或人は婦人は世を飾る爲めに生れ出たのであると申しましたが、私は婦人は世を美はしくする爲めに世にあるものだと信じます。即ち婦人は家庭に於ては母とし妻として、己が屬する家庭を美はしくする使命あるのみならず、社會や國家をも美はしくする重大なる使命のあることを常に確信して、之れが爲めに奮闘努力をせねばならないものだと存じます。婦人が母として己が生みし子供を愛するのは自然の愛で動物が其子を愛するのと同じ事でありますが、私の所謂母とは己を忘れて他人を愛する眞心、至誠ある婦人を意味するのであります。ナポレオン帝王が嘗て佛國に缺乏するものは母なりと云ひ、且皇后は親しく女子教育に力を盡されたと申す事であります。何れの時代何れの國に於ても最も要求するものは此至誠献身の心に富める婦人であります。故に箴言にも

誰か賢き女を見出すことを得ん、其價は眞珠よりも貴し、其夫の心は彼を恃み、其產業は乏しくならず、彼が存命ふる間は其夫に善事をなして惡しき事をなさず(中略)彼は喜びて手づから働き、夜のあけぬ先に起き其燈火は終夜きえず、彼は手を貧者にのべ、手を困苦者にのぶ……、彼は筋力と尊貴とを衣とし、且のちの日を笑ふ、彼は口を開きて智慧をのぶ、仁愛の教誨其舌にあり、彼は其家の事を鑒み、怠惰の糧を食はず、其衆子は起て彼を祝す、其夫も彼を譽む云々。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とあります。而して主婦たる模範的婦人の資格として如何なるものを要するかと申しますに、私は少なくとも左の數個の德性を備へなければならぬと存じます。

第一　操作を貴ぶ事●●●●●

勞苦を惜ますして働く生產的の婦人あつて、始めて其家及國家は富榮を來たすのであります。然るに世には懶惰に流れて甚だ不生產的な生涯を送つて居る婦人が尠なからずあるのでありますが、母が子に殘す尤も大なる惡習は懶惰と懈怠の機會であります、神は常に働き玉ひ又吾等に操作の機會を備へ玉ふのです。人は操作によりて己を知り、己れ以上の人となり得ると同時に此働きによりて如何に己れの薄弱なるものなるかを知り、謙遜になり得るのです、眞の働人にして傲慢なるものはありません。使徒ポーロが工を好まずば食すべからずと申しましたが、働き好きの親は必らず其子をも働人となさしめます。前年石黑軍醫總監が自分の經驗を話されました內に、私の今日あるは勤勉なりし母の感化によるのであると申されました事を伺ひましたが、勤勉家たる石黑軍醫總監は所謂勤勉家たりし母上の賜物であつのであります。

第二　勇ましき氣性ある事●●●●●●

私は先年米國に渡行し、近年北海道又朝鮮に旅行して切に感じた事は、夫れ等の國々や地方の荒漠たる原野森林を開きて、僅かの歲月の間に今日の如き市街あるに至らしめた事でありますが、これは素より勇猛果敢にして天險を恐れず、寒氣に屈せず萬難を排して然鬪したる男子の功蹟に待つ者多しと雖も、亦其男子と共に働きを取りし剛勇なる婦人の働が一半の功を奏したる事は明なる事實であります。凡そ古今東西を論せず世に大事業のなされたる裏面には、必らず險を冒して進みし勇氣なる人格が伴ふて居らぬ事はありません此點に於てフローレンス、ナイチンゲールや、フランシス、ウイラルドは男子をも凌ぐ壯大の偉觀を呈して居る女性であります。卑怯なるものは世に何事もなす能はざるものであつて、彼の武勇あるスパルタの母にして其子を武勇あるものとならしめ得たのであります。

第三　教育ある事●●●●●

エマルソン曰く「世界文明の多量は善良なる婦人の感化なり」と、婦人は家庭の主婦であつて、家庭は品性の涵養の最初の學校なれば、萬人皆其最初の教育を此處に受けて女性の感化を蒙むるのであります。即ち其家庭に於ける教育の重任は男子よりも女子が之を擔はねばならぬのであります。されば善良なる母の其子に及ぼす感化は随つて實に莫大なるものならざるはないのであります。恰も土中に蒔かれたる植物の種子の如く、最初は土に覆はれて視へざる事ありても終には芽を出し花咲き果實を結ぶに至るのであります。故に圓滿なる家庭を作り得ると共に社會國家に其善良なる感化を及ぼさんには、身自からも亦教育によりて學識を養はねばなりません。

第四　同情の愛ある事●●●●●

婦人として何物よりも大切なるは親切即ち愛であります。彼のキリストすら己を喜す事をせざりきと云ふ自覺をもて子供の爲め親の爲め朋友の爲め又病者、貧者、孤兒、乞食の爲めにさえ同情ある婦人が現代の最大要求に屬する者だと考へます。愛は世の悲哀を視て己の者となすのでありますが、此愛の缺乏の爲めに却て世人は悲惨なる生活を送つて居るのであると私は信じます。使徒ポーロがキリストを知るを以て尤も優たる事としましたのは、即ち愛を以て其王國建設の基本となし玉ひしキリストの人格の欽慕すべきものなる事を教へ、又之を追求せねばならぬことを示したのであります。

以上は女性が其特異の天授を全ふする道に於て缺くべからざる所の者であると信ずる所を概説したのでありますが、一言にせば矢張婦人として其性格を鍛錬上達せしむるに止まるのであります。假令人全世界を得るとも其生命を失はゞ何の益あらんやてふ眞理を記憶し、人の貴ぶべきは其所有の豊富なるにあらで、人格の富貴なるにある事を會得し、之を自から體し得て家庭、社會、國家のために致すのであります。私は神より此世に遣はされたる特別なる使命のある事を深く自覺して、天父の御旨に從ひつゝ此世の生涯を送る婦人は、眞に幸福なる者であると考へます。（渡邊常子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本基督教婦人矯風會廿回大會

執行順序

△時日　明治四十五年七月十日より十二日まで
△會場　東京市麻布區鳥居坂　東洋英和女學校

▲七月十日午前九時

○祈禱會（三十分間）
○開會（九時半より）
△讃美、聖書朗讀祈禱
△役員、部、課長並に出席員支部長點呼（井深花子）
△本部記錄書記報告（井深花子）
△大會執行委員撰定（會頭指名）
○會頭演說
○議題提出
○正午祈禱（正十二時）

▲十日午後二時

○讃美、祈禱
○代員證明書朗讀（高原孝子）
○報告
△通信書記報告（高原孝子）
△青年少年兩部報告（ガントレット恒子）（守屋東子）
△會計報告（小崎千代子）
△婦人新報報告（高原孝子）
△萬國本部派出員報告（ミス、デビス）
○議事
○讃美、祈禱

▲十日午後七時

○歡迎會

▲十一日午前九時

○讃美、聖書朗讀祈禱
○前日記錄朗讀（會場書記）
○各課長報告
○支部代員紹介
○議事
○正午祈禱（正十二時）

▲十一日午後二時

○讃美、祈禱
○特別委員長報告
△時事問題委員報告（高原孝子）
△財政報告（小崎千代子）
○役員選擧
○讃美、祈禱
○本部役員會

▲十一日午後七時

○公開演說會（神田青年會館）
○賞旗授與式

▲十二日午前九時

○部課長懇談會（一時間）
○前日記錄朗讀
○追悼會
○新任課長報告
○正午祈禱（正十二時）

▲十二日午後二時

○讃美、祈禱
○青年少年兩部大會（司會者ガントレット恒子、守屋東子）
○殘務
○會場記錄朗讀

▲十二日午後七時

○親睦會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本部役員　住所姓名

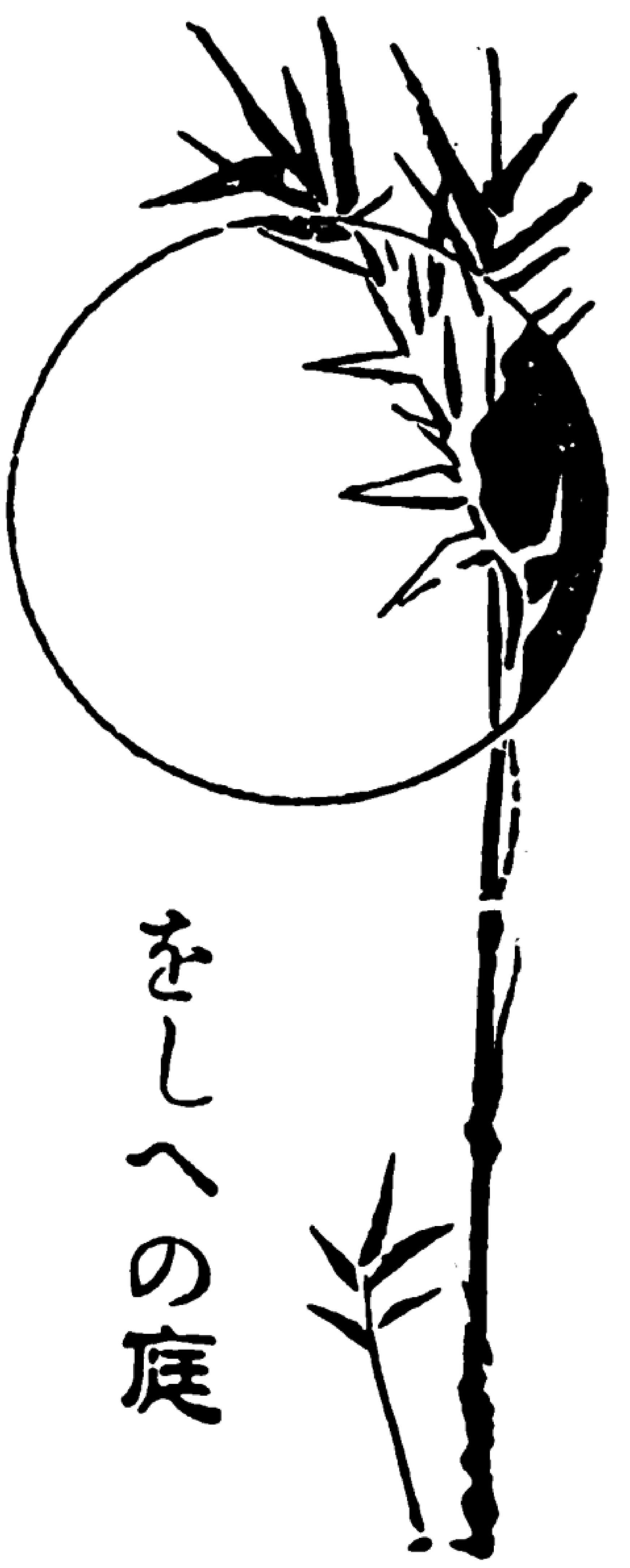
會頭	矢島楫	東京市麹町區上二番町卅三
副會頭	本多貞	東京市赤坂區青山學院構内
會計	小崎千代	東京市赤坂區靈南坂町十四
記錄書記	井深花	東京市芝區白金明治學院内
通信書記	高原孝	東京市麹町區上二番町女子學院内

部長課長　住所姓名

青年部長	ガンドレット恒	山口市山口町中河原
同副部長	杉本鉞	東京市青山高木町十二ノ九
少年部長	守屋東	東京府下千駄ヶ谷五九八
法律課長	矢島楫	女子學院内
軍人課長	清水富貴	相州鎌倉大町名越
軍人課副長	富永延	牛込區市ヶ谷佐内坂町九
母之會課長	粟屋榮	東京府下淀橋町卅九
懸賞文學課長	伊東元	麻布區新網町四、鈴木方
教育課長	渡邊常	神戸市中山手通七ノ二八
同副課長	安部鶴	牛込細工町九高橋方
風俗課長	名出晃	大阪市川口町
同副課長	湯淺初	東京市赤阪靈南坂五
文書課長	水野菊	東京市麻布鳥居坂東洋英和女學校
同	安中花	同所
交際課長	淺井まん	兵庫縣住吉
同副課長	武友梅代	京都
傳道課長	渡邊繁	山梨縣甲府山梨女學校
動物優待課長	武田淑	江州彦根芹橋
禁煙課長	根本德	東京市芝區三田四國町一五
衛生及遺傳課長	大關和	東京市神田區猿樂町一九
工女課長	バンフハインド	東京市小石川指ヶ谷八四
救濟課長	島田信	東京市中六番町
無酵課長	福田紀	東京府下淀橋町一〇二
議事法研究課長	エリス	東京市芝三田フレンド女學校
花の課長	城戸順	横濱山手共立女學校
安息日課長	山東泰	東京市赤坂區青山女學院内

附記　各支部にて出席せらるゝ員數幷に御姓名を東京市麹町區上二番町三十三矢島楫へ宛御通知被下度候也。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



をしへの庭

家庭と宗教

大阪教會牧師　宮川經輝述

◎英國の家庭

先年私の知人某氏が洋行をして、英國の小學校を參観致しました時に校長に向つて、此學校では道徳教授を如何なる方法に依つてやつて御出でですか、と質問致しました。校長は變な顔をして、私の學校では別に道徳の教授は致しません、生徒各自は其家庭に於て充分道徳の養成をされて居るのですから、學校では只それを保護し、一層其實行の出來る樣に導くだけの事なのであります、と答へたさうです。

元來、英國は御存じの通り世界中での君子國、道徳観念の高い國民といはれて居るのですが、其は何處で養成されたのであるかといふと實に其銘々の家庭に於て之が修養をされて居るといふのは、誠に羨ましい事ではありませんか。扨て英國人が修養の場所として居る家庭を日本人はどういふ風に考へて居るかと云ふにマア洋服を脱ぎゆつくりと着物を着換へ、あぐらをかき、足蹈み展して氣樂に休む處だ、とのみ思つて居るらしう御座います。尤も或方面から見れば其もさうでありましようけれども、私はモット此家庭といふものを尊敬して英國人の樣に「修養の場所」であるといふ風に致したいと思ひます。

試みに考へて御覧なさい、例へば若い人が學校に於て道徳の教を受けると申します。併し、其所謂修身の時間といふものは一週間にたつた一時間であります。僅か其位の時間なれば教ゆる人も習ふ人も聖人君子のやうな顔を致して居る事も出來ませう。それから又御婦人方になると他人に接せらるゝ時間は少ない。外出

して他家を訪問されても、人と對する間はさう長いものではない。即ちそんな時間だけなればよそ行の顔をして居るのもさほどむづかしい事ではありません、が、家庭となると少しの遠慮と云ふものがない、行ひに就ても言葉に於ても全く露出しである。そして誰でも一番長く居るところでありますから、茲に本統に包ます飾らない赤裸々の性格が現はれて居るのであります。
其故に此家族の人達から、ほんとに彼は平和な人だ親切な子だと云はれるやうにならねばならぬ。

◎教會堂だけの信者

京都の或敎師が或時に面白い話しを致しました。それは其敎會員に一人の實業家があるが熱心なる信者で敎會等の献金は喜んでする、慈善會とか寄附金などは惜し氣もなく進んでするに反して、其店に使用して居る雇人達は數年間一日の如く忠勤を勵んで居るのに依然として月給は三圓、少しも待遇をよくして呉れぬ、と不平を洩して居る。又其細君は流行には寸分の隙もなく、遲れないで衣服なら持物なら其粹を拔て、寶石の指輪は五の指に輝いて其人の虛榮心は遺憾なく發揮されて居るにも拘らず、女中達に對しては年中小言のやみなしで、一寸居眠りをすると平手で頰邊を叩き擲るといふ風なので、女中の出入頻繁な事は御話しにならぬ。女中共は皆細君や主人の取做の慘酷なのを恨んで居るといふ話であります。
私は此敎會に於ける有力な然も熱心なる信者はまだ〳〵天國行の資格の無い人だと思ふ。かゝる人はまだ家庭を修養の場所として居ないのであると云はねばなりません。

◎家庭の宗敎は生命なかるべからず

私共の家庭の宗敎は又生命がなければなりません。假りにクリスチャンの家庭で子供に祈りをしろ、聖書を讀め敎會に行けと、形式ばかりを敎へるならば其子は死んだ宗敎に中毒してしまうので、其結果は厭ふ可きものとなります。私の家庭では餘り形式に就て子供

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に喧しく云はないが、夏休みに海岸等へ同伴した時なんど、雄大な海の眺めよろしき岩の上や、或は子供の生れた其記念日などには、特別に感謝の祈りをする事に致して居ります。

先日或る家の娘で両親も持て餘した娘を宅へ預かつたのです。殊に少々手が長くて人の物が欲しくて仕方がない、實に氣の毒な性質の者でありましたが、宅で數ケ月以前から家庭の祈り會といふ事をはじめて、主人初め子供も女中も順番で讃美歌を撰ぶ祈禱をするといふ樣に司會者となる事にした。五歳の子供などはいつでも君が代の一天張である。ところが或時其娘が、「私に祈りを上させて下さい」といふので快よく司會をさせたところ、彼女は衷心から涙を流して今迄の罪を神の前に懺悔致して、其後は大さう變つて實に性質のよい娘となりました。

◎仁者敵なしとは此事か

今一つは北海道の札幌に住つて居る一人の紳士は、細君に對して冷酷である。處が此人が餘程人形に趣味を持つて居る人で、自分の居間には種々な人形を陳列して樂しんで居るけれ共、細君は其居間に入る事を許さない。其内に官用で以て其男は上京した留守中、兼て其夫人が夫から慘酷な取扱ひを受けて、神經衰弱の樣になつて不愉快に暮して居る細君に同情を寄せて居た、基督教信者の或夫人が、どうかして慰めて上たい、神の道を知らして上たい、と思つて親しく出入して、修養をすゝめて居ました。

しばらく立つと、上京中の主人は歸宅をするといふ事を報じて來た、そして大好物の人形を求めて連れて來ると聞た細君は、今迄自分に對して不親切な夫の待受けのため、直ちに呉服屋に行つて切地を買つて人形の衣服を縫ふやら、夜具迄揃へて待つて居るところへ主人は歸宅して、細君から此話を聞て非常に感じて、『それは有難うお前も己れの居間に入つて此の人形を御覽』と、言つたやうな塩梅で非常にやさしくなり遂に只今では圓滿なる平和な家庭を作つて居るのです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

で此細君は決して夫を恨まなかつたのみならず、自分の缺點は何處にあるか、どうか缺點を少しでも無くしたい修養をして立派な婦人になり度い、といふ誠にやさしい心掛であつた『所謂仁者に敵なし』とは此事でさしもに遍屈な夫の心が氷が春の暖かな風に解ける樣にならしめたのは實に感心す可きことであらう。

◎修養は如何にす可きか

艱難は人を玉にすといふが實にさうである。私共は父なる神の命じ給ふ處をよく行つて世俗の上に超然たる或意味の生涯をせねばなりません。溫室で咲た花は荒い戸外の空氣にあへば萎んでしまう、子供でも大切な坊ちやん育ちは身體も弱ければ意志も薄弱に成り易いのでありますから、家庭の主婦たる者は能く神に仕へて修養を怠らず確固たる意志を持て、世を呪はず人を恨まず常にしつかりした精神を以て、家族のため主婦の務めの凡てを盡さねばなりません。

（早稻田教會に於ける同先生の御說教を筆記したものでありまして、文の責は悉く記者にございます。）

約翰傳講話

道・生・光

益富政助

はしがき

講義と謂はずして講話と言つたのは在來の聖書講義とは多少趣を異にし、字句文章の釋義に重きを措かないで、只管、私共の日常の信仰的生活に於て、靈的教訓を受けたいとの希望で以て說いたものだからであります。而かも人に教ふるが爲に說いたのではなく、家庭禮拜の時に私が申述べた大要を書き記したものに過ぎませんから、迚も大なる御滿足を讀者諸姉に與ふることの出來ないのは申す迄もありますまい。

一　太初に道あり、道は神と偕にあり、道は即ち神なり。(一)

聖書六十六卷の中、何れとして大切ならぬ卷はありませんが、別して四福音書は、聖書の骨髓とせられて居り、殊に約翰傳は其又福音書中の骨髓とせられて居る書なのであります。

さて、茲に『道』といふ文字があります。之は原語で**ロゴス**と讀みまして、古來神學者間に於て最も議論

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のある所なのでありますが、六ケしい理窟や議論は一切拔きにして、『道』とはイエスキリストを指して居るものだといふことは、明かであります。而して、此の「道」といふ字を國語の音通り「ことば」と解すれば、これは私共に最も明瞭に其意味を會得させます。即ち言語とは自分の思想を他人に傳ふるためのものであります。一口に言へば「さゝめこと」にあるやうに「言は心の使」であります。而して人間は音聲を利用して自分の思想、意志を發表いたしますが、見えざる大能の神は音聲ではなく、**イエス**てふ言語を用ゐ給ひました。我等人間の言語は口にあります舌にありますが、神の御言はイエスにあります。人の言語は口に發して人の耳に訴ふる處の音聲でありますが、神の道は形をなして人の目に映せしむる處のイエスなる人格であります。我等若し神の御言葉を聞かんと欲すればそは即はちイエスの御人格を仰げばよいのであります。イエスの此世に於ける一言一行は皆是れ、大能の神の御言葉であります。嗚呼貴ときかな、神の道よ。

又此「道」を漢字通り「道」と解しても間違ひはありません。**ロゴス**は矢張り「道理」を意味するのでありまして、『我は途なり生命なり眞理なり』と仰せられしやうにイエスは實に一點誤謬なき「道理」であります。眞理であります。然り、人の履むべき「道」であります。凡ての人の『行くべき道』であります。世の中には自ら『行くべき道』を知らずして迷へるもあり、煩悶するもあり、又既に道を失して墮落せるもあります。其間にありて、私共が、逸早くも『行くべき道』を示されたる事は何といふ有難い事でありませうぞ。

二　之に生あり、此生は人の光なり、光は暗きに照り暗きは之を曉らざりき。(四)

加之イエスは實に生であります。御同樣御互は全く彼によりて生命を得たのではありませんか。イエスを見出す迄は私共は全く死んだものでありました。『我は復活なり、生命なり』道德的に死し、精神的に死し靈に死んで居た私共は實にイエスによりて復活し、新らしき生命を與へられたのであります。何と感謝すべ

き事ではありませんか。

私共の生命であるイエスは又私共の光であります。

『我は世の光なり、我に從ふものは暗き中を歩かず』（八〇一二）諸姉よ、顧みれば過去の生涯に於て私共は如何に暗き中を行いた事でございませう。光なくして私共は實に全く盲目の如くでありました。而して盲目蛇に怖ぢず、隨分淺ましい事、罪深い事、今思へば身慄ひするやうな事迄平氣で致して參りました。然るに光明は東天にあらはれ私共の暗黑は照されました。而して此光明に接して始めて今迄蹈み來りし道の如何におぞましき道なりしかを知りました。イエスは私共に光りを與へて其暗き行を捨てさせ、新らしき生活に入らせ、常に我々を導いて行くべき道を示し玉ひます。「光は暗に照り、暗きは之を曉らざりき」イエスは只我々個人々々の暗黑面を照し玉ふ光なるのみならず、又實に人間社會の暗黑面を照し玉ふ光明であります。嗚呼、此世は如何に暗き世の中なるかよ。千九百年の昔、ユダヤの社會が暗黑なりしのみならず、世は文明開化を以て誇る廿世紀の東洋の帝國が實に暗きこと限りなき事ではありませんか。御維新の頃、或一人の志士は世の中が暗いと言つて日中も提灯をつけて歩いて居りました。併し暗き世は維新當時許りではないのであります。政治界を御覽なさい、立憲政治の主腦たる代議士てふものが如何にして選出せらるゝかを御覽なさい。之等は私共婦人の關係しない事と致して、併し言はずに居られない事は、姦淫罪に關する民法改正案、殊に外國醜業婦取締に關する請願が過去二十八回の議會に於ていつもながら愚弄されて居ることであります。而して婦人が政府の認可を受け姦淫を業とするとすら出來る世の中かと思ふと、又其娼妓と何等撰ぶなき藝妓が貴婦人同樣に遇せられて居る社會であります。之等の事を考へて見れば實に今日の日本は、恐るべき暗黑の社會であります。どうかイエスの光りを以て之を照したいものである。『暗きは之を曉らざりき』とは之れ昔の事、私共は是非共『曉らせる』ためにカを盡さねばなりせん。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供は救ふ價値ありや

▲大政事家ロイド、チョーヂ氏の事

在米　久布白　落實子

或る夕、篠つく雨の中を、すぶぬれになつて一人の婦人が戸口から入つて來た。『御免下さいまし、私は五哩許りさきから大急で參つたもので御座いますが、先生はお宅で御座いませうか』『はい居りますが何か御用で』との返事に顔を上げ『實は私はつい先頃夫に先き立たれまして殘る一人の子供を育てゝ居りますが、それが只今大病なのでどうか先生の御出でを願ひたう御ざいます……』とあとは云ひよどんで居る。醫士は烈しき雨音に一寸と眉をひそめたが『よろしい』と一言、外套ひき掛けて後に從つた。

子供は九死に一生を得て全快の域に向つた。醫士は事情を見聞してつゐ一仙の禮も受くることを肯じない然し其日の歸るさ、疲れし足を家路に運びつゝ思はず考へた。あの子供一人助ける價値があるだらうか、育つた處で石炭掘にでもなるのが關の山だらうに。

* * * * *

歳月は流れ去つて四十七年は過ぎた。

此の頃の新聞にこんなことが載つて居る。北米合衆國内在留のウヱルス人は殘らず連署して英國有數の政治家ロイドヂョーヂ氏に渡米を懇請した。其連署中には大統領タフト、前大統領ルーズヴエルトなどの名も見える。

四年前英國矯風會大會は滿場一致を以て、ロイドチョーヂの功勞を稱した。英國議事堂に於て單身赤手を揮つて禁酒の爲に戰ふ最大の勢力であるからである然しこのロイドヂョーヂこそ誰あらう四十七年の昔、ウエールスの片田舍に救はれし子供である。

ロイドヂョーヂの四十七年は實に奮闘の活歴史であ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る。幼にして父を失ひ、中年に到るまで勞働の內に生活し、其專門は僅かに村の學校と、安息日學校のバイブルクラスに過ぎぬ。然れど彼れの敏捷なる頭腦はこの間に尙ほ論爭の鋒を磨き、將來の武器を錬り、苦心慘憺廿二才にして終に辯護士の事務所を開くに到つたが、其貧困より洗ふが如く、法庭に用ふる服すら手に入ることが出來なかつた。公人として彼れは社會のあらゆる問題に注意した。地方人民信仰自由の爲めの戰ひを初陣として、禁酒黨の爲めに戰ひ、全力を恐れず輿論に媚びず、眞理を直言して憚らず、正々堂々クリスチャン政治家として朝野の間に重視せらるゝに到つた。

　彼れは生來一滴の酒を口にせぬ。貧困の內に起き臥して具に下層生活を見聞した彼は、酒の恐るべきをしみ〴〵悟つて居る。又それを今日の地位より咀嚼して政治家たる理想を作り上げて居る。曰く、途中によろめき滅亡に步む醉漢なき地、人道の腐れゆく貧民窟なき地、牢獄の三分の二は空虛なる地、無慈悲なる工場なき地、子供は饑へず凍えず能く育てられ能く敎へられ、其笑聲街に充つる地、然して凡ての爐邊より酒害の除き去られし地、かゝる國を造り出すことこれ我が理想なりと。斯くて彼れは驚く可き才能と雄辯と、加ふるに熱心を以て一方貧民救濟に、一方酒屋の全滅に精力を傾注して惜しまぬのである。嘗て彼が議員となつて間もなく、ライセンスを剝がれた酒屋の爲めに一種の調停策が議題に上つたことがある。彼れは立つて火の出るが如き雄辯を揮つてこれに反對した。聽衆は理の當然と熱情とに打たれ、我を忘れて拍手すること數回、『酒を放つて語れ辯士、我輩は終夜止りて謹聽せん』と呼んだ程である。彼れは已に每週養老金を出して、百萬人の人を助けて居る。

　英國はグラッドストーン以來の一大政治家として彼を待ち、世界の禁酒黨は彼れによつて大なる將來を豫期して居る。ガーフイールド曰く『余は襤褸を纏へる童子を途上に見る每に、如何なる將來の人傑其小きコートの下に潛み居らんかと漫ろに敬畏の念を禁する能はず』と。子供は實に救ふ價値ある者である。(在米婦人新報所載)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

孝子の德父の放埒を止む

▽陋巷に此美談あり

下谷區山伏町の棟割長屋に住む山岸喜太雄(五七)は、一定の職業もなく、明暮酒と賭博とに身を持崩し、爲に永年連添ひし妻さへ愛想を盡かして姿を隱したれども、其樣な事には一向頓着なく、寒中單衣一枚で震へて居ても働かず、釜の下の灰を賣りなしても酒と賭博は絕めぬと云ふ厄介者なり。然れば所轄警察署にては浮浪の注意人物として、常に角袖巡査が尾行して注意を怠らざりしが、不思議や此の厄介男が舊臘十二月以來三度の食より好きな酒と博奕を止め、生れ替りし如く温順となり、新子細工の屋臺店を輓きて、辻々に出でゝ鬻ぐ有樣、今迄の喜太雄とは似も付かず、附近の人々も變れば變るものと噂し合へるも理り、喜太雄には德一(一六)とて元下谷區萬年特殊小學校を優等にて卒業し、今は北品川町なる品川製鑵所に雇はれ居る一子あり。德一幼少より孝心深く、常に父の亂行を嘆き、或時は學校にて習ひ覺えし修身講話を父に語らひては酒毒の恐るべきを說き、或時は賭場に赴きて苦諫し、如何にもして父が不身持を直さんと、日夜心を碎きつゝ、日々主人より受くる日給十二錢を積みて、家賃に宛て、剩餘金にて父が大好物の酒肴を購ひ、膳に上す事一ヶ年間、一回だにも缺したる事なかりき。されば如何に放蕩無賴の喜太雄も、我子が赤心籠めたる孝心に心から我身の非を悟りて見れば、夢より覺めたる如く、今日只今より心を入替へ、眞人間となりて正業に就き、德一が成人を樂しむこそ親たり且つ人の道なりと思ひ直したるは、昨年暮なりき。夫よりは三度の食より好物な酒と賭博は勿論、煙草迄も斷然絕ち正業に就く事となり、所轄警察署は其後尾行を解除したれば、父子が喜び一方ならず、是偏に孝子德一が、賜にこそ、世の子弟が鑑として實に美はしき物語りならすや。(報知新聞)

なくなくも別れし時を別れにて、別るゝ親のなきぞ悲しき(眞潤)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

覺え帳の中より

▲本多貞子夫人が、御良人の永眠によりて非常に力落しをせられた事は人情正に然かあるべき事ではあるが然し、同夫人は近頃、『庸一に計り仕事をさして自分の助けが足りなんだために、あんな事にもなつたのですから、今後は神樣のためとあればどんな事でもして一生懸命に働くつもりです』と語つて居らるゝ。嘗て鳩山春子女史も良人和夫氏を失なはれたが悲嘆の涙やるせなく、神經が亢奮してどうしても夜安かに眠る事が出來ないと悲しんで居らるゝのと比較して見れば、何れも女丈夫とは云ひながら、神を信ずる女丈夫と、神を知らざる女丈夫と此間に、如何に大なる差異があるかを今更のやうに痛感した。嗚呼尊ときかな大神の力よ、惠みよ。

▲大阪の緒方家といへば、誰でも、ア、あの洪庵先生の跡かと合點する舊家の名家である。さうして子孫は皆何れも揃ひも揃ふて父祖の業を繼ぎ、醫者となり、現に大阪第一流の緒方病院が二個もある。而して又同先生の令孫緒方和三郎氏は四十年に東京醫科大學を優等で卒業し、三年間獨逸留學を命ぜられた位の秀才であるが、此程又醫學中央雜誌社の懸賞論文に當選し少壯學者の名譽と題して新聞に載せてあつた。

▲然るに其緒方家が熱心なるクリスチヤンで、殊に本家の緒方吉重老刀自の如きは大阪に於ても最も熱心なる矯風會員である。而して折々は本家、分家の奥樣方が旅行なんどをされる時こそ〳〵知人の眼を盜んで、『姉さん、今日は誰も居ませんから、三等で行かうではありませんか』などと云つて赤切符で乘る。斯くて質素な旅行をするといふ許りではない。其差金（白切符との）を停車場中の孤兒院慈善箱に入れるためである。

▲小崎千代子夫人は婦人矯風會のためとしいへば、如何なる事でもなし、又如何なる場合でも差操つて集會にも出席する。之は良人弘道先生のすゝめも與かつて居るらしい。即ち矯風會だけは教會の事を犠牲にしても助けるといふ主義ださうな。（M生）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我が魂と、我が心　花子譯

夏の朝　花はかほり
野に榮滿てり。
我が魂と　我が心と
夏の太陽の輝く朝
共にあゆみぬ。
我心は舞ひぬ誇りに
笑みて歌ひぬ。
我が魂よ　世は樂し
夏の朝　うるはし。*

*然ど我が魂はもだして
寂しく歩めり。
永遠の　喜び得よと
宣りぬ大神　我が魂に
夏の一日の　輝きに
舞ふはこゝろ
舞へと神は　宣りぬ
我が心に。

花

小花匂ひぬ、色もかほりも谷かげに、淋しく咲けど世の幸いのる。
花とかほる青葉うつくし、はたち經て、心若やぐをとめ子の如。
君が窓、若葉のみどり美しき、此頃思ひ木陰に寄りぬ。
花びらは風にこぼれて淋しさの、ほのかにゆらぐ歡樂の宵。
散る花は秋に受けて涙湧く、我が胸の野にまた咲かせなん。
儚る春の一日の喜びを、天つ常世の花とも思ひぬ。

人を呪はゞ穴二つ
（飮酒家も酒造家も共に短命）

日本でも古來から酒屋には兎角長命の者が少いといふことは聞いては居たが、何が扨て、例の統計不完全な國柄のこととて、事實果して如何であるかは遺憾ながら今日迄吾人の間に疑問として殘されてあつた、然るに右の如き米國其筋の統計報告に由つて調査せられたる結果始て吾邦民間の傳說が確證せられて、酒類營業者が概して短命なる事實を發見したるは、是れぞ我が實業界に於ける新年の大福音と申すべきである。

扨て其短命なる理由の明白なる次第は、彼等が營業上、聞き酒と稱する試驗の爲には、下戶上戶の別なく酒類を口にするの習慣より、遂に此の社會よりは往々大酒家を出し、延いて其健康を害し、生命を短縮する者の多きは自然の勢と言はれば成らぬ、即ち同表に據れば酒類製造販賣業者にして、五十五才迄生存する者は百人中僅に二割一分なるに、他の營業者に於ては、同年齡の生存者は其二倍餘に及び、又六十五才の分は酒造家等には僅に八分なるに引換へ、其他に於ては百人に付三割強といふ多數の生存者を見る割合であるとは、實に甚しき相違と云はねばならぬ。諺に人を呪はゞ穴二つと云ふ語があるが、酒造家や、女郎屋などは此類にして、罪な商賣の報ひは覿面誠に恐るべき次第である。（國の光）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

基督教と結婚

青山學院教授　山田寅之助

△社會問題は家庭問題なり

基督教の社會に及ぼす感化の中でも、其最も重なるものは家庭に及ぼす感化である。その社會に及ぼす感化の大部分も亦家庭に及ぼす感化の間接の結果である社會と家庭とは直接に大關係のあるものにて善良なる社會は善良なる家庭より成立つものである。家庭の改良を謀らずに、社會の改良を謀らんとするのは、弱い絲で丈夫な反物を織らんとするやうな事で、無理なる註文である。社會の害毒は多くは家庭より流れ出でゝ居る。社會の腐敗は家庭の腐敗の結果である。それ故に家庭問題と社會問題とは歸する所一であつて、家庭問題は一層根本的である。

△結婚は家庭の基礎なり

家庭問題中最も重大なる問題は結婚問題である。何となれば結婚は家庭を作る基礎であるからだ。家を造るにも基礎が大切である。もし基礎が弱ければ、其上にどんなものを造つても、悉く無駄になる。近頃の大水で流れた家屋は幾十萬となくあるが、それは基礎の弱い爲めである。家庭を造る基礎は結婚である。即ち善い結婚は善い家庭を造り、惡い結婚は惡い家庭を造るのは、何よりも見易い事である。然らば結婚問題は人生の一大問題であつて、一生の幸不幸の本源である。社會に於ける樣々なる罪惡、人生の悲慘なる事件は間接直接に皆結婚に關する失敗より來つて居る。是れ結婚問題について眞面目に考へねばならぬ所以である。

△基督教と一夫一婦制度

基督教が結婚問題に就て何を教へて居るかと云ふに

一夫一婦と云ふ事を敎へて居る。是れは多くの人々の充分承知して居る處で、別段基督敎に限つたものと思はれぬかも知れないが、私はこの敎は形式の上から云へば、眞に平凡な敎で、決して珍らしくもなく、左程難有い敎とも思はないが、この敎の精神の上から云へば、實に貴むべきもので、基督敎の特有物と云ふて、少しも過言ではない。何れの國の法律でも、一夫一婦を普通の道として居る。野蠻國は別として、文明國ならば何れの國でも、一夫一婦の道が行はれて居る。モルモン敎や、マホメット敎などでは、多妻を許して居るが、是は例外であつて、是等の敎ですらも多妻主義を實行せねばならぬと主張するのではなくして、唯許可するまでゞある。マホメット敎では四人までは妻を娶る事を許して居るが、私の知つて居る人は一人の妻を有して居る。日本や歐米の基督敎徒ならざる人々でも矢張一夫一婦の道を守つて居るが、それは形式の上の事で日本の紳士の生活を見れば、其事が能く知れて居る。彼等も亦一人の妻を有して居る、戸籍を調査すれば、必ず一人の妻より外にはない。けれどもそれは正面丈けの事である、裏面を見れば二三人の妻がある。妻とは云ふまいが、其實に於ては矢張妻である。斯る習慣は正面から云へば、一夫一婦に見ゆるが、裏面から云へば、一夫多妻である。基督敎は正面丈け一夫一婦であれと敎ゆるのではない、正面も裏面も一夫一婦であれと敎ゆるのである。儒敎でも佛敎でも夫婦の道に關して敎えて居るが、基督敎程にこの一夫一婦を嚴重に守れと敎えては居ない。基督敎はこの點に於て他の宗敎と大に違ふて居る。そして基督敎の一夫一婦の敎はどれ程社會を幸福ならしめて居るか、計り知れざる程である。この敎は家庭を造るに缺くべからざるものである。家庭は平和の宿るべき處である。平和のない家庭は家庭ではない。合宿所である。家庭は愛情の漲る處である。權利義務の關係で結ばれて居るのではなくして、愛情で結ばれて居る處である。また家庭は信用の充ちて居る處で、疑ひなどの這入らぬ處である。この平和、愛情、信用は家庭の空氣を作る要素

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

で、この空氣の中に家族が生活して居るのである。是れらの三つのものは一夫一婦の道とは調和すれども一夫多妻の制度とは矛盾する。

△一夫多妻の家庭は如何

今一夫一婦より成立ちたる家庭が平和と愛情と信用とを持つて居るのに、假りに二人の妻が出來たとすれば、どんな事が始まるのであらう。今まで平和であつた家庭が必ず其平和を失ふに違ひはない。二人の妻の間には必ず嫉妬が起る。それが爭ひとなり、一家の平和は雲のやうに消えて了ふ。その實例は擧ぐるまでもない。諸君は何程でも御存知であらうと思はる。愛情はどうなるかと云ふに、是も亦消滅する。一夫一婦の間でこそ、互に全心を以て愛する事が出來るが、一夫多妻となれば、夫たるものは其愛情を妻の數丈けに分けねばならぬ。けれども算盤勘定のやうに、公平に分ける事の出來ないもので、必ず一方に多く、一方に少なくなるには違ひない。即ち公平に愛する事が出來すに、愛が偏頗になる。其結果どうなるかと云へば、多く愛せらるゝものは誇り、少なく愛せらるゝものは怨む。昔から御家騷動と云ふ事があつたが、其原因は多くは一夫多妻である。信用はどうなるかと云ふに、猜疑と變ずるのである。一夫一婦の間に平和と愛情と信用とがあつたが、多妻となれば、妻と妻との間にも猜疑が起る。一擧一動皆猜疑の種子とならぬはない。斯くして一家の安寧幸福は多妻實行の爲めに犧牲に供せられ、家庭は一種の地獄と變じ、遂に滅亡に終るのである。一家の滅亡は尙忍ぶ事が出來ても、それが社會に害毒を流す點に於ては忍ぶ事が出來ぬ。一家が滅亡しても、其家族が皆死ぬのではない。妻には子がある母を異にしたる子供等は兄弟とは云ふものゝ多くの場合に於ては最も仲の惡い兄弟である。多妻主義の實行されたる家庭の兄弟は、其名のみ兄弟で、其實は仇敵のやうなものだ。もし家に財產があれば、彼等は財產爭ひがなければ、彼等は路頭に迷ふものとなる。彼等は嫉妬や猜疑の充ちたる家庭に育つたゆゑに、勿論

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭教育の恩澤には沐浴しては居ない。家庭教育を受けぬものは多く不良少年となりて、社會の迷惑となりそれが其儘生長すれば、色々の罪惡を犯して監獄に入る人となる。監獄を繁昌さすものは惡い家庭である。惡い家庭を作るものは一夫一婦の道を守らざる事である。斯く考ふれば、結婚の影響も亦實に廣大なものと云はねばならぬ。基督教の一夫一婦の道は幸福なる家庭を作り、また幸福なる社會を作るものである。

△基督教と離婚問題

更に基督教に特有の教と云ふべきは、夫婦の關係の終身にして、離縁を禁ずる事である。他の宗教では離縁を許して居るが、基督教では唯一つの理由の外は離縁を許さぬ。勿論常識から見ても、夫婦の關係は終身のものであつて、一般の人々はそれを認めて居る。偕老同穴と云ふ言はそれを表して居る。高砂を謡ふのも亦一夫一婦が終身の契を結びながら、それが中途で離縁となるのは、どう云ふ譯であらう。日本では年々六萬以上の離縁がある。十人結婚すれば二三人は必ず離縁する。それには色々の事情もあらう、同情すべき事情もあらう、けれども離縁しても善いものだとの考へがある爲めに、離縁するやうな事情が起るのも多い。若し離縁が出來ぬものと思へば、忍耐すべき事情でも離縁が出來ると思へば、忍耐せずに離縁するやうになる。忍耐するよりも、氣儘勝手にする方が易い。人は難きを取らずに易きを取るのは常である。そこで離縁が出來るものと思へば、必ず離縁するやうな事情が起る。夫婦とても互に不完全の人間なれば、意見や感情の衝突が一生涯に一度もないとは云へない。其衝突も亦激しい時もある。離縁が出來ると思へば、其衝突の際に離縁する。離縁が出來ぬものと思へば、其衝突の際に互に忍び、互に讓つて調停の道を講ずる。爭ふて再び和睦すれば、一層親みを加へるものである。日露は戰爭後、以前よりも親しくなつた。夫婦も折々衝突しても、離縁さへしなければ却て益があるやうである。何故に私は衝突を歡迎するかと云ふにそれは親みを加え

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るからである。何故に親みを加えるかと云ふに、互の間の意志が疏通するからである。戰爭後の平和は眞の平和であるのはこの理由に依る。然るに離縁が出來る、ものと思へば、眞の平和や親睦を來たす衝突の際に、離縁して了ふから、眞の平和や親睦を經驗せずに終つて了ふやうになる、實にこの點から云ふても離縁は大なる不利益である。

△離縁より生ずる弊害

世間の人々は離縁を至極便利な方法だと思ふかも知れないが、離縁より生ずる弊害があるかと云へば、娶る人も嫁く人も、結婚の大禮を心から重ぜぬ事である。即ち試驗的に之を行ふ事である。娶る人の方ではあの人ならば妻としても善さうだ、もし惡るければ其時には離縁しても善いから、兎に角貰つて見やうと云ふ。嫁する人の方では、務まるか務まらぬか、まア往つて見ませうと云ふて行く。そしていよ〳〵務まらぬと思へば、實家に歸つて來る。是は結婚の神聖を認めないのである。幾度結婚しても善いものと思ひ、又離縁は双方の恥辱である事を感せないのである。驗して見る積で結婚するのは人生の大禮を輕んずるのである。互に試驗する積であるなら必ず落第するに極つて居る。

離縁の多いのはこれが爲めである。之に反して娶る人は終身我が妻として娶り、嫁く人も終身我夫として嫁くならば、其新に造られたる家庭は實に堅固なるものである。もし夫婦の關係はいつまで續くだらうかと云ふ考へがあれば、一生懸命に妻は家の爲めに働く事は出來ない。一生涯我はこの家のものだと思へばこそどんな難儀でも忍ばれるが、他人の家やら自分の家やら判然せぬさういふ、ような家の爲めに、難儀を忍んで働くと云ふ事は出來ぬ筈である。隨て善い家庭の出來やう筈はない。然るに基督教では離縁を許さぬ。儒教のやうに子なければ去るとか、疾あれば去るとかそんな事が離縁の條件となつて居るが、基督教には唯一つの外にはない。即ち貞節を破つた場合の外は、一切離縁を許さない。そこで基督教主義に依れば夫婦は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

終身のもので、自分から之を破らぬ以上は、この關係は一生涯破れぬものである。離緣がないと云ふ證券印紙を張つたと同樣なれば、互に家を顧みて我家と思ふて働く事が出來る。離緣がないといふ事は、妻たるものに取つてどれ程心強いか知れない。基督教が婦人に取つて難有い事はこの點である。また離緣を許すならば、母を異にする子供が家庭に出來る。前妻が死んだ時には是は仕方がないが、離緣の爲めに斯る事の出來るのは甚だ不幸な事である。斯る際に禍に陷るのは離緣されたる母の產んだ子供と、その父親である。離緣程家庭を禍するものはない、是は歐米でも東洋でも同じ事で、眞に基督教を信ずる人は是の禍を免るゝ事が出來る。

△夫婦の關係

一言添えて御話して置き度い事は、夫婦の權利に關する誤解である。基督教信者の中にもこの誤解がある。即ち基督教は夫婦同權說でも教へて居るやうな考を有つて居る人がある。けれどもそれは基督教思想ではない。基督は別段夫婦の權利については敎を遺して居ない、けれども弟子等の言の中には屢々之を見る。ペテロが『妻なるものよ爾曹その夫に服ふべし』と云ひ、夫に向つては『夫たるものよ爾曹も妻を遇ふこと弱き器の如くし云々』と云ふた。この言に依れば夫は妻を保護し、妻は夫に服從すべきものである。同樣ならば服從と云ふ事はない。一家庭を造るには主人が二人あるべき筈はない。家に主人が二人あれば國に主君が二人あるやうなものだ。二人の主人のあるのは不便である事を何人も知つて居るから、妻君が主人となれば夫は服從する。けれども細君が主人となるのは基督教主義ではないどこまでも夫が主人となるべきものだ。東洋では昔からの習慣は夫が主人で、妻がこれに服從することとなつて居る。丁度それが基督教主義に合ふて居るから、日本の家庭をそのまゝ基督教主義に合ふたものとは云へない。形式は一致して居つても、精神は未だ一致しない。夫と妻の間が餘りに隔つて居る。夫は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

餘りに權が多く妻は餘りに權が少ない。唯夫のみの意見が行はれて、妻の意見が行はれない。妻が何か云ふと女の癖にと云ふて叱る。是は女子敎育のなかつた時代の事で今日では女子も立派に敎育されて居るからには、其意見も亦參考とならねばならぬ。そうでなければ女子敎育の甲斐がない。一層無敎育なものとした方がよい。無敎育なものは服從するに都合がよい。けれどもそれでは社會が文明にならぬ。そこで妻は夫に服從すべきものではあるが、夫と相談する事が出來る、夫に助言する事も出來る。夫も亦妻の意見を重んじ、之を採用すべきである。けれども妻が命令したならば之を斷然拒んで善いのである、妻は命令すべきものではない。

△結論

夫は妻の上に權があつても、家庭と云ふものは元來權利を主張する塲所ではないと云ふ事を心得ねばならぬ。夫が家庭で威張つて見せても何の役にも立たぬ。家庭の空氣は愛でなければならぬ。夫婦互に權利を主張するやうになれば、もはや家庭ではない。夫は權利を振り廻はしてはならぬ。弱きものゝ如くに妻を保護し夫は妻を愛し、妻は夫を敬ひ、一致協同して一家の幸福を謀るべきものである。基督敎と結婚との關係のある事は斯の如きである。基督敎には他の宗敎と一致する眞理も多くあるが、結婚に關する眞理は確かに他敎に優つて居る。家庭を潔め婦人を重んずるの點に於ては、基督敎は遙かに他宗敎に優つて居る。基督敎は宗敎中最も多く婦人を祝福する宗敎である。家庭を重んずる人々、殊に主婦たる人々に對して、私は基督敎を信ずる事を勸告するのである。

料理

○苺ブラマンジ　苺を洗ひ蔕を去り鍋に入れて煮て、布にて漉し、再び果汁を鍋に返して火にかけ、適宜に砂糖を加へ果汁二合に付コーンスターチ大匙（スープヒ）に山かけ二杯を水で解いたのを攪廻し乍ら混ぜて、湯呑茶椀の水氣のある中に流し込んで冷やして固まつた後に深い皿に落して砂糖と牛乳と生の儘の苺を周圍に置て食卓に上ぼす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本訪問雜感

サツチヤー女史

（左はサツチヤー女史がポールス邸に於ける歡迎會の席上に於て述べられたるものです。文責は固より記者です）

（一）日米親交に就て

私は御國の言葉で一々心の內を申上度と思ひますがそれが出來ませんのは殘念でございます。御國に參りましてから僅かでありますが、大へん御國は結構な處で興味を持て居りますので、早く歸るのが嫌になりましたから六月の中旬まで滯留することに致しました。

私も旗を愛して居ります。（此時携へ來れる米國旗を出し）この旗と今矢島女史より贈られました旗と、一緒に捲付る樣に日米が一つの國となり、永遠に離れない事を望みます。皆樣が禁酒のために御働きになつていらつしやる事は實に喜ばしい事で、世界を漫遊して居りますうちにも、到る處にだん〳〵平和が行はれまして、一つに神の許に支配せらるゝ樣になる事を希望致して居ります。

萬國矯風會本部から種々な婦人を御國へも送りましたが、中にもミスデビスをアメリカから御送りした事は御國のために捧物と思ふて居りました。デビス孃の母公はアメリカの賢母中の一人であります。歸りましたら、デビス孃の働きをアメリカ中に云傳へようと思ひます。

（二）慰問袋に就て

日本の方々が愛國心に富んでいらつしやる事は感服いたしますが、私も皆樣にまけないつもりでをります。愛國者はよろしく軍人を助ける事が必要であります、それ故私は軍人の間に多くの子供を持て居ります。私は日本の方に慰問袋の雛型を送りました。日本では六

萬も御送りになつたさうで私はそれには及びません。この袋の中には樣々の必要なる品、即ち絲、はさみ、繃帶、即効紙、脱脂綿、テープ、歌の本などを入ますが、一ばん大事なものは禁酒の誓約書を入るのであります。十年間に其約束を致して申して參つたものが一萬枚であります。

(三) 印度より禁酒の誓約書來る

私が今度の旅行で一番愉快に堪えませんのは印度の奥の北の旅行に演説し歩いた禁酒の話に感じたとて送つて參つた或人の禁酒誓約書が、日本へ着いて匆々に私の手に入た事です。此の人はベルクスタンに居る人で一身をキリストに捧げたと書てあります。

私が持て居るこの禁酒の本には、ウヰラード孃の外にスチブン夫人の寫眞と愛する國の旗が附て居りますどうか、日本の旗をつけ、矢島女史の御寫眞をつけて本をこしらへたいそれには二十圓程掛つたら出來ると思ふてをります。

(四) 懸賞文章(禁酒)

もう一つ考へて居る事は禁酒を題として懸賞文章を募集し五十圓は陸海軍の兵士の方から論文を提出させ第一等當選の方に贈り、倘大學中學の學生諸君の中からも禁酒論文を募集し同じく一等當選の方に五十圓を贈り度い其募集期限は二ケ月間と致度と思います。

貴君方の國も我米國も今後益々強くなるには其第一の方法として衰亡の基で、敗徳の基で、又人間を墮落させ、又人間を誘惑する基となるべき此飲酒を禁するより外に宜い途はないと思ひます。因て私は飽迄も之を私の事業として大に行り度いと存じて居ります。

記者曰く同夫人はミスデビスの母君と親友にあらせられます。而してデビス孃は夫人のために大隈伯爵邸、山本總相邸並東鄉大將邸訪問に斡旋せられました。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

矯風會の起源

故ウヰラード嬢述
鵜飼牧師譯

久しき以前、米國ニユー、イングランドにルイスと名くる人ありけるが、其子息ディオは長じて後、ボストン市の名醫の一人と數へられ、殊に衛生問題に關する著述家としては、米國有數の大家と呼ばるゝに至れり。氏の晩年に於て、氏は西部各州に向つて講演旅行を思ひ立ち、「我等の處女」と云へる題を以て、當時の處女等が學藝及び事業上如何に多望なるか、又彼等は結婚及び財産所有權に關する不公平なる法律と、家庭の不節制（耽に飲酒放蕩）とに依りて、如何に不利益なる地位に立てるかに付て、滔々として雄辯を振ひ世人に大なる警醒を與へられしが、就中左の一節は大に人々の心を動したるものなり。

「余の父は曾て豪飲家たりしが、當時家庭は余等幼少の弱體を以て充ちたり、母は毎日父の他出したる後にて必ず二階の一室に行を以て例とせしが暫くして下り來るや、其温顔は天の榮光を以て充ちしが故に余等幼少の兒童と雖ども、母は神と共にありしことを察知するに難からざりき。

其後家族の困難は殆んど其極度に達したれば、或日の事なりき、母は生命と力の源とも賴みて日毎に愛讀せる一冊の聖書を小脇に差し挾み色褪たる帽子をかむり、垢染みたる肩掛を着て家を立ち出で、平素父が多くの時と金とを惜氣もなく消費せし酒店に赴き其聖書を酒卓の上に置けり。此酒卓こそは父が數々杯を手に取り上げし所にして、父と我等の不幸の源は此處にありと知られたれ、而して母は其處にて聖書を繙き極めて淸朗の音を以て「禍害なる哉隣人の口に酒を入るゝものよ」と讀み上げ、酒卓の彼側に居たる店主に向ひて祈ることを得るや否やを問ひしに其温良なる顔色其柔和なる音聲は、自ら神共に在すとの不可思議なる威嚴を示したれば、店主は直に心よく承諾を與へたるのみか、母が熱誠を以

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て聖靈の感化、店主の心情に及ばんことを祈りし間、酒樽の傍に平伏して之に一致せしかば、母の祈は直ちに聞かれて、店主は其後父には勿論、他の人々に向つても一滴だに與らざるに至れり。是に於て慘憺なる家庭は變じて幸福なるものとなり、今は早や天の召を蒙りて故人となりし彼純潔なる母の子女は一人として酒を口にし、又は神の聖名を濫に稱へしことなし云々」

以上の感話は其性質極めて單純なるにも不拘、博士ルイス氏の熱情より出しものなれば、何處に於ても會衆一同に感激を與へてるは勿論なるが、博士は其機に乘じ殊に會衆中の婦人に向ひ、若し彼等一致共同の力を以て、各市各町の酒店主人に就て我母同樣の哀訴を爲さば、其獻身と信仰の結果は、必ず多くの可憐なる家庭を善化し得ること猶かつ余の家庭の改善の如くなるべしと奬勵したり。

博士ルイス氏は許多の集會に於て來聽の婦人を奬勵するに己が母の大膽なる仕打に倣はんことを以てし、二ケ所に於て彼等の大贊成を得、其結果頗る見るべきものありしが、終に一千八百七十三年(明治六年)極月廿三日ヲハイヨー州の首府シンシナチより程遠からざる小村ヒルスバローに於て、例の實驗談を爲せしや、神の時辰儀は、婦人矯風の「ペンテコステ」とも云ふべき時機を報じて、茲に其發端を開けるが爾來其運動は着々として見るべきの良成蹟を顯はし、今日に於ては全世界中苟も文明と名づくべき國々には婦人矯風會の組織あらざる所なきに至れり。

神聖なる矯風の火焔一たびヒルスバローに燃立や其勢力犯すべからずして、家より家に移り、村より村に及び、市より市に達し、米國西部の地終に其餘勢を蒙らざる處なきに至り、空氣の中には神聖なる感染の奇力充滿して未曾有の刺戟を世人の良心に與へ、熱誠なる婦人の隊伍は數々彼等の住家と教會と酒店との間を狂奔せしが、其數少くも十又は二十多きは百に上たり。而して彼等は恐るゝ所なく憚る所なくして酒店に押し寄せ、其處にて祈禱會を開き、若し拒まるゝことあれ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ば、戸外に平伏して神の佑と恵を求めたり、これば其熱誠より出づる感化力は數々大打撃を酒店主に與へしが故に、彼等の中には斷然悔悟して隊伍長なる婦人に乞ふて酒樽の鏡を拔かしめ、之を溝に打流したるものも少からざれば、其都度讃美の聲は天地を動かし諸教會の鐘は歡喜の音を四方に傳へたり。又是等の諸教會に於ては每夜禁酒矯風の集會を開きたるに、其福音を開かんため酒店の店主、雇人を始め其他之に緣故淺からざる人々、所狭きまでに集ひ來りたり。又教會の禮拜及び日曜學校出席者は二倍の增加を爲したるが之れと反對に各所の酒店は、殆んど無人の狀を呈し無慮二百五十の町村に於ては、全く酒類營業を禁止するに至れり。如此して婦人禁酒矯風大運動の猛火は時を移さずして合衆共和國、加奈太の全部及び海の彼邊にまで達し、濠州、印度、支那及び日本も亦其餘勢の鼓動を蒙るに至れり。殊に東亞の諸市に於ては英語を理解し得る婦人等彼の矯風大運動に類似したる福音的方法に依りて事業を始めたれば、其時より神と家庭と各國の大敵(酒)に對する婦人の組織的反抗運動は一般の新勢力を得たり。

慈愛館の集とサ夫人の歡迎會

▲五月四日午前十時より、我矯風會事業の一部なる慈愛館(救濟事業)に會員及有志の方々打つどひ、ミセス、マコーレの送別と、新たに館長となられし、ミスペンロッド及ミスミントルの歡迎をなしたり。朝より雨はふりたれど同情に充ちたる諸姉は五十餘名も來られ、午前は祈禱のために過し、思ひ〱の辨當とりかはし食したるも樂しく、午後は二時より矢島會頭の司會にてミススペンサー渡瀨夫人送別の辭、ミセスマコレーの挨拶、報告ありて後小崎夫人歡迎の辭、ミスペンロッドの挨拶小崎夫人獨吟あり。次にフレンド女學校長平川君のお話ありて午後六時樂しく散會し

▲五月九日午後三時より、芝區三田功運町ボールス氏方に於て、萬國婦人矯風會本部軍人課長サッチャー夫人の歡迎會を開く。矢島會頭は前年ボストンにて同夫人より米國の旗を贈られたる好意に對し、兼ねて新調し置たる朝鮮紋羽二重日の丸の國旗を贈呈せられし後歡迎の辭を述べ續てサッチャー夫人の挨拶あり。有志の獨唱、合唱あり、茶菓の饗應ありて後散會せしは午後七時。同日は雨天なりしも來會者約四百名ありき。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社會改良と婦人

山室救世軍大佐補談

（本篇並に次の一文は金澤婦人矯風會に於ける演說の概梗を筆記せしもの）

私共が此世に生存致しまする間は、世の中をだんだん善良にせなければならぬ責任があります。此世の中を渡りますのは、舟で此方の岸より彼方の岸に着きます様に、過去つた世のものを未來に渡すので、言ひ替ますれば、祖先より受けましたものを子孫に讓るのであります。然しながら渡し舟のように簡短なものではありませんで、其讓渡す中にすべてのものに色艶を附け元よりも善良にして渡すといふ義務があります。語を換へて申せば此世を善良にするので所謂社會を改良する責任があるのであります。而して社會を改良致しますに付ては我々はキリスト教の立場から三四の理想を抱いて居ります。

第一、社會を正義の行はるゝ所と致す事。

第二、愛の行はるゝ所と致す事。

第三、純潔の行はるゝ所と致す事。

第四、平和の行はるゝ所と致す事。

すべて男子が社會に於て事業を致す半面には、必ず婦人も伴ふものでありまして、此社會改良にも人の妻として母として婦人が大なる力をもつて居るのであります。其故に婦人は第一自から善人となりて他人の鏡となり、第二、愛の力に依りて世を益し、第三、婦人の祈の力に依りて世を益し、第四、聖靈の力に依りて社會を改良し、第五、婦人の眞心に依りて社會を改良せなければなりません。

人格の感化

私共が無意識に毎日致して居る言行が、如何なる感化を他の人に及ぼして居るかを考へて見まするると、實に一言一行忽せに出來ないのであります。人は皆大勢の仲間の中に生活して居るのでありますから、どうしても御互に何等かの感動を與へたり、また受けたりしない譯にはまゐりません。婦人の間に行はるゝ流行も矢張りそれであります。聖人には聖人の感化があり、惡人には惡人の感化があります。又人は當時代の人に

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

感化を及ぼすと共に、子孫にまでも及ぼすものでありまして、別けて大なる人格の感化は其人の死んだ後までも永久に生くるものであります。それ故私共は善人となりて善良なる感化を後世子孫に與ふるやうに致したいものであります。而してさう致すには天地の靈なる神から永久の生命を受けねばなりません。

(右極めて大要だけでありまして委しく記すことの出來ないのは誠に遺憾と致す所でございます。(内藤とく)

各支部の方々へ急告

御多忙中恐入候へども、大會も近く相成候間本年度義務金及大會費可成御早く下名まで御送金被下度候。

東京市赤坂區南坂町廿四番地
本部會計　小崎千代子

有給書記手當俸月不足の爲、本部會計を煩し遺憾に存候間、可成御都合の上、下名迄御送金被下度願上候。

東京市ヶ谷佐内坂町九番地
書記會計　富永延子

事務所新築費に就て

拜啓益々御多祥賀し上げ候、過日來本部事務所新築の爲め御寄附御願申上候處、既に諸支部より御送金被下、中にも若き方々の手づから種々御働きの結果得られし金員御送附被下實に感謝に不堪候。追々大會も近き候まゝ至急取纏めの都合に致度何卒御手數樣ながら御送金被下度願上候。

猶既に御送金被下候支部は左の通りに候

北海道函館。東京麻布東洋英和女學校。大阪堺市。名古屋服部氏。上州安中及び原市。岩手縣磐井郡少年部。江州彦根。群馬縣多野郡。以上。

神戸市中山手通六丁目九ノ一　松山つね

婦人新報代金に就て

大會も近づき、決算の都合も有之候間、婦人新報代金も至急下名迄御送金被下度願上候

東京麹町區上二番町三十三矢島方
婦人新報社　高原かう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

をとづれ

●靜岡支部

三月二十九日、英和女學校に於て、榎本正氏「婦人の勢力」に就きて有益なる講話せらる。出席員百餘名。

四月六日山家支部長宅に於て、役員會を開き、本部より照會ありし、サツチャー夫人歡迎の準備及本月例會に就き相談ありて後散ず。

四月十三日午後一時より、追手町青年會館樓上に於て例會を開く。今回は傳道課の主催として靜岡ホーム松井豐吉氏「婦人と信仰」と云ふ題にて凡そ一時間餘、實驗上より提前二章を主として懇切に勧められ、山家池田二姉の感話、安藤姉の祈禱を以て一先づ閉會、茶菓の内に將來を語り、樂しく散會せしは四時、出席員十八名、二名の入會者ありたり。

●佐賀支部

禁酒大演說會。主催は佐賀婦人矯風會、時は四月十四日午後七時開會、場所は花房小路の福音ルーテル教會堂、會衆は豫て傍聽券を所持する大人男女二百五十名を定め、司會は牧師和佐恒也氏の挨拶ありて、一同は讃美歌「花よりも愛でにし」を齊唱し、聖書は（箴言二十三章）煙草專賣局支所長玉井卯一氏奉讀し、祈禱はピーク師に頼て熱誠に捧げられ、博士は日本禁酒會長安藤太郎氏登壇「我が禁酒の動機」に就き殆ど二時間に渉りて詳細に演述せられ、聽衆は始終感動を以て傾聽し、拍手湧くが如き裡に降壇するや、禁酒會員募集は司會者の斡旋に頼りて行はれ、應募者中某田龜太郎君は酒豪の人なるに、愈よ禁酒を斷行し、當夜第一番の入會者として衆前に立て安藤會長と握手をなし、衆庶をして非常に感動を與へ即時に七拾五人の加盟者を出し、會の組織は希望に由て、會長に玉井卯一氏を幹事に農學校教諭田中新作氏を推選し、讃美歌「なもひいづるもはづかしや」を齊唱し、和佐牧師は終の祈を捧げて閉會せり。結果は多大の良効を得たり。這回の催しに關する經費の全部は、博士リツパード家の好意によれる事を感謝し且つ教會員の援助ならも深く謝する處なり。

五月一日午後三時花房小路私立佐賀幼稚園内にて例會を開く。折惡しく雨天なりしため十五名出席者あり聖書朗讀、讃美、祈禱を以て開會す、和佐傳道師は「小事に正しき者は大事に義しき者」に就て話され、此度安藤先生の當地に御講演のため新らしく生れたる禁酒會の力となるべきものは矯風會員なりと有益なる御勧めあり、和佐夫人の報告ありて次ぎに會員各々感話あり、家庭の禁酒を守るに婦人の決心の大切なる事業を述べらる新入會員松井末子一名。（和佐くま子）

●金澤支部

四月廿六日午後三時より、石浦町教會に於て婦人矯風會大演說會を催し、中澤長老司會の許に讃美、聖書朗讀、祈禱及びギブンス孃の妙なる奏樂を以て會を開く。救世軍大佐山室君は「社會改良と婦人」に就き熱心に語られ更に同日午後七時より、メソヂスト會堂に於て「人格の感化」と題し、有益なる演說ありたり。當日の集會者は兩度合せて千餘名の多きに至り、其主なる方々は、市中の有力なる人高等學校教師、高等女學校教師其他青年學生にて、一同に與へられし感動は多大にして斯る集會は近來に見ざる所にして、如何に山室先生が主の爲に盡さるゝ力の大なるかを感じたり。今回の集會は當地に於ける婦人矯風會の一大事業なりしを感謝す。（書記内藤とく）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●長崎支部

昨年九月以來、當支部會員は一の目的を貫かんが爲め、極力活動せし結果喜ばしき音信を申上ることを得、誠に幸福と存候。

支部會員の決心は空しからず、年末に至りて當市に禁酒會支部の創立せらるゝに至り、安藤先生の御來長を辱ふしたるは、支部會員一同の幸福は勿論當市の爲めに賀すべきことにて之がためには、會員各自手製の物にて慈善市をなすなど頗る奮闘いたし候。又之が援助として當市青年會の御方々の御同情を深く感謝致し候。

安藤先生は四月十日御來長、十三日迄、御滯在の期の短なるにも拘はらず、十二の集會に御演說被下し其御熱心と不折不撓の御活動は聽衆一人〱の心に深き印象と覺悟を與へたるものゝ如くにこれあり候。

現今流行の興行、活動寫眞を措いて他に盛なる集會は六ヶ敷いと申さるゝ當市が今回の如き盛なる集會を告げしは愉快なることに有之、實に先生は當地の女子師範學校、高等女學校が生徒を督して禁酒演說を聞かしむるまでに主義を貫徹致され候事を感謝いたし候。

また、先生の御實驗談と、女子の熱心は良人を酒害より救ひ得たらのたること、飲酒家の家庭の悲慘と、之に反したる禁酒家の幸福なる家庭の績とは、大に人の注意をひき一般の人が禁酒主義を考ふるに至りし結果當支部には數名の新會員を得申し候。

すでに禁酒會も創立せられて四十二名の會員あるは實に喜ばしき事にて、此會は當市に存する惡魔の城塞を相手ござる神軍とも思はれ候、今後益々我等の目的の理想の實現せんが爲め盡力致さん決心に御座候。(ツルーマン)

●麹町支部

昨年の大會後早速掲載可致筈なりしも、記事複雜なりし爲め延引大會費御出金之方々を紹介致候

金五拾錢　岡林たれ
金參拾錢　福田とし
金五錢　岸田つる
金五拾錢　齋藤とら
金拾錢　青木凞
金貳拾錢　津田みや
金貳拾錢　弓削田ます
金貳拾錢　益富幾能
金貳拾錢　加藤りせ
金貳拾錢　庭子木姉
金拾錢　吉武夫人
金拾錢　安福ちゑ
金拾錢　矢島楫
金拾錢　河原ゆき
金三拾錢　綱島ふさ
金壹圓　須藤やゑ
金五拾錢　奥山有志
金五錢　無名氏
金貳拾錢　畑たり
金五拾錢　森田みち
金參拾錢　小杉みの
金貳拾錢　栗屋淼
金拾錢　桑田とみ
金參拾錢　内田よし
金貳拾錢　平岡りう
金拾錢　村上や
金參拾錢　古家かつ
金參拾錢　水野眞樹
金貳拾錢　元田悌
金參拾錢　岡原榮　平野春
金拾五錢　小倉文枝
金五錢　山室勇
金拾錢　宮永のぶ
金五錢　渡邊夫人
金參拾錢　勝屋とよ
計金八圓四拾五錢

本年は東京に開會の都合にて接待費を當支部は百圓引受居候につき何卒今より御心掛被下御出金の程奉願候也

矢島楫子
中澤とう子

●婦人新報代金領收

(訂正)第百七十七號所載七圓四十錢四十四年吉田姉とあるは四十五年度五月迄と訂正致候。

一金參圓　細堀すゞ子
一金拾圓拾五錢(四十五年期)　赤阪支部
一金拾貳圓參拾貳錢(四十五年期)　芝支部
一金拾川貳拾錢(三、四月分)　麹町支部
一金壹圓(四十五年度)　宮野崎とら子
一金壹圓六拾錢(四十五年三月迄)　中瀬たきゑ子
一金拾圓(四月分)　大阪支部
一金壹圓四拾錢(四十四五年分)　旭川支部
一金壹圓(四十五年度)　渡瀬夫人
一金七圓(四十五年度)　京都支部
一金壹圓五拾錢(四十四五年度)　佐野もと子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京深川區西森下町四十七番地

電話本所一八五二番

産科
婦人科

荒木醫院

入院
應需

院長　荒木宗吉

診察時間　午前八時より正午迄
　　　　　午後往診とす

斜視

眼科　一般 特に　成形　手術

（本院）牛込區市ケ谷田町
　　　　三の廿新見附外

（分院）府下中澁谷宮益坂
　　　　下踏切角

畑眼科醫院

電話番町一八六六

入院
應需

東京市麹町區一番町十四番地

聖母堂産院

隨時入室　姙娠分娩共に
懇切を主とし且つ廉價に
取扱ひ申上候

産婆　高水幸子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲品行方正にして身體健全なる者

看護婦募集

東京神田區猿樂町一九番

大關看護婦會

電話本局二二五二番

產婦人科
小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

△院長診察 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

緑滴る初夏の讀みもの

「婦人のかゞみ」

は久しく品切れでしたのが、今度第九版を發行いたしました。著者は松村介石氏。定價は三十錢で郵稅は四錢。

「貞操美談 路得記」

すでに評判は市に定まつてをります。是れもこのたび四版ができました。內村鑑三氏著、定價十五錢、郵稅四錢。

「新美人法」

一名化粧法と申します。著者は日本女子大學の敎授たる松浦政泰氏。定價は二十五錢。郵稅四錢。

御便誼のために、內容の概略を記せば、

(1)優美と壯美 (2)美の力 (3)美人の標準 (4)理想的容姿 (5)身體美 (6)呼吸と美 (7)睡眠と美 (8)沐浴と美 (9)神經と美 (10)結婚と美 (11)肥醜の瘦醜 (12)顏面美 (13)皮膚美 (14)頭髮美 (15)眼美 (16)口美 (17)聲音美 (18)呼吸美 (19)鼻美 (20)耳美 (21)手美 (22)足美 (23)形容美 (24)性質美 (25)學藝美 (26)品格美 (27)動止美 (28)服裝美 (29)姓名美 (30)美人法 英國のパテイ夫人の寫眞つきです

ゐはゆる化粧法と御混同なきやう。著者と發行所に御注意くださればお察しがつきませう。

「英和對照 愛吟」

ホイトマン、ゲエテ、ブラウニング、をはじめ西の國の詩人の佳句美詞を撰みて、著者獨得の筆もて譯したるもの。譯者は內村鑑三氏。定價は十五錢、郵稅二錢。

軟かい風が薫て、緑なす野や、森をわたる朝な夕、樹蔭靜に低誦すればどんなにいゝきもちでせう。

發兌 東京京橋銀座 警醒社書店 (振替貯金東京五五三番) 支店は本郷

明治四十五年五月二十五日發行
毎月一回二十五日發行